

動物実験に関する自己点検・評価報告書

北里大学獣医学部

2021 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「北里大学における動物実験等に関する規程」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則り、「北里大学における動物実験等に関する規程」（以下「機関内規程」という。）を定めている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「北里大学動物実験委員会規程」</p> <p>「北里大学獣医学部動物実験委員会規程」</p> <p>「北里大学獣医学部動物実験委員会委員名簿」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>「北里大学動物実験委員会規程」および「北里大学獣医学部動物実験委員会規程」を整備し、北里大学動物実験委員会（以下「全学委員会」という。）および獣医学部動物実験委員会（以下「学部委員会」という。）を設置している。学部委員会委員長は全学委員会委員を兼務している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「北里大学動物実験・実習計画書（書式第 1 号）」</p> <p>「北里大学動物実験計画書動物実験実施者届（書式第 2 号）」</p> <p>「動物実験計画変更申請書（書式第 3 号）」</p> <p>「動物実験終了報告書（書式第 4 号）」</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請書（書式第 5 号）」</p> <p>「動物実験室設置承認申請書（書式第 7 号）」</p> <p>「施設等廃止届（書式第 8 号）」</p> <p>「実験動物種等及び使用数報告書（書式第 10 号）」</p> <p>「動物施設変更申請書（書式第 11 号）」</p> <p>「動物実験室変更申請書（書式第 12 号）」</p> <p>「動物実験計画書取り扱い要項」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画の立案、審査、承認、実験結果の報告および改善の指導、施設等の設置及び廃止等に関わる各種書式を定めており、機関内規程に即した「動物実験計画書取り扱い要項」を定めている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「北里大学バイオセーフティ管理規程」</p> <p>「北里大学バイオセーフティ委員会規程」</p> <p>「北里大学獣医学部バイオセイフティ委員会規程」</p> <p>「北里大学遺伝子組換え実験安全管理規程」</p> <p>「北里大学遺伝子組換え実験安全委員会規程」</p> <p>「学校法人北里研究所 RI 安全管理規程」</p> <p>「北里大学獣医学部放射線障害予防規程」</p> <p>「学校法人北里研究所化学物質等管理規定」</p> <p>「学校法人北里研究所化学物質等管理委員会規程」</p> <p>「向精神薬試験研究施設設置者登録申請証」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p>

<p>感染実験、遺伝子組換え動物使用実験、放射性同位元素・放射線使用実験および化学発癌・重金属等使用実験について、各種規程を定めており、麻薬・向精神薬の使用および家畜の使用に関する行政への必要な手続き体制を定めている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請書」</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請台帳」</p> <p>「臨床教育・研究支援小動物施設 飼育管理マニュアル」</p> <p>「小動物実験施設 利用 マニュアル」</p> <p>「小動物実験施設 管理 マニュアル」</p> <p>「運営標準操作手順書 2018」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>管理者から「飼養保管施設設置承認申請書」が提出され、学部委員会の審査を経て、学部長を通じて、学長へ設置申請がなされている。各飼養保管施設に管理者および実験動物管理者が配置されており、飼養保管に関わる手順書等が整備されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>「動物福祉に関する相談窓口」を設置し、初めて実習等の動物実験に携わる学部学生等に配慮した体制が構築されている。</p>
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2020年度「動物実験・実習計画書」 「審査記録(2020年度)」 2020年度「動物実験終了報告書(書式第4号)」 2020年度「実験動物種等及び使用数報告書(書式第10号)」 「動物実験計画書取り扱い要項」 2020年度「学部委員会議事録」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内規程に則り、動物実験委員会活動を実施している。動物実験計画の審査は、学部委員会の複数名の委員によるプレ審査および全委員による本審査の二段階方式により行われており、いずれの審査も機関内規程に即した「動物実験計画書取り扱い要項」に即して行われている。動物実験委員会委員長は「動物実験終了報告書」等に基づき、学部長へ助言を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2020年度「動物実験・実習計画書」 「審査記録(2020年度)」 2020年度「動物実験終了報告書(書式第4号)」 2020年度「実験動物種等及び使用数報告書(書式第10号)」 2020年度「動物実験の自己点検票」 2020年度「学部委員会議事録」 「安楽殺法」 「安楽死処置確認書」 「代表的な麻酔薬と鎮痛薬」 「苦痛カテゴリー検索表」 「実験動物の被験物質の投与及び採血に関する手引」 「げっ歯類の胎児・新生児の鎮痛・麻酔および安楽死に関する声明」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内規程に則り、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。動物実験は、学部委員会の定める各処置手引書等(安楽死処置、麻酔・鎮痛、被験物質投与および採血等)に則り、実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

「審査記録（2020年度）」

2020年度「動物実験の自己点検票」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

感染実験は、北里大学獣医学部バイオセーフティ委員会への届け出の後に、遺伝子組換え動物使用実験は、北里大学獣医学部遺伝子組換え等安全管理委員会の承認の後に、動物実験計画の承認が行われ、実施されている。放射性同位元素・放射線使用実験は、北里大学獣医学部放射線障害予防規程に則り特定区画内において、承認の後に実施されている。化学発癌・重金属等使用実験は、有害化学物質管理責任者の個別指導の元、「動物実験施設等で使用する有害化学物質の取り扱いについて（特定化学物質）」（国立大学法人動物実験施設協議会）に基づいて計画立案され、承認の後に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

2020年度「実験動物飼養保管状況の自己点検票」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

全ての飼養保管施設から「実験動物飼養保管状況の自己点検票」が提出されている。各飼養保管施設において、実験動物管理者および飼養者は各飼養保管施設が設置するマニュアルあるいは手順書に則り飼養保管が行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2020年度「実験動物飼養保管状況の自己点検票」</p> <p>法定点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>十和田キャンパスにおける各飼養保管施設の各設備は、各飼養保管施設の管理者等により点検され、獣医学部営繕担当により維持修繕等行われている。八雲牧場における各設備の点検および維持修繕等は、フィールドサイエンスセンターにより一括して行われている。大動物施設設備の老朽化による飼育環境制御に苦慮している様子が窺える。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>2020年度より大動物施設更新について検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「教育訓練受講者リスト」</p> <p>「教育訓練」スライドファイル</p> <p>「実験動物学実習」スライドファイル</p> <p>「実験動物管理者の教育訓練」受講証</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練は、相模原キャンパスから十和田キャンパスへ異動時のオリエンテーション、必修科目の実験動物学講義および主要となる施設の利用講習のそれぞれに組み込まれており、要事の都度の受講体制を構築している。教育訓練の講師は、外部の機関による実験動物管理者等の教育訓練・研修などに定期参加し、関連情報の収集にあたっている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成</p> <p>特になし。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p>

<input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2019年度「動物実験に関する自己点検評価・報告書」 北里大学ホームページ（教育研究＞研究支援・産学連携・知的資産＞ライフサイエンス・研究倫理）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 年度毎に学長の指示の下、「動物実験に関する自己点検・評価報告書」が学部委員会により作成され、学部長承認のもと、全学委員会を経て、学長に報告されている。機関内規程、動物実験に関する自己点検・評価報告書（実験動物の飼養保管状況、前年度の実験計画書の年間の承認件数、前年度の教育訓練の実績および動物実験委員会の構成を含む。）が本学ホームページに公開されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 外部の機関等による検証の結果については、2021年受検終了後に公開する。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

(1) 実験動物の飼養保管状況 別表1の通り
(2) 実験動物飼養保健施設数 総施設数：19施設（主要な飼養保管施設名称：北里大学獣医学部小動物実験施設）
(3) 2020年度の実験計画書の年間の承認件数 新規承認・・・89(件) 変更・継続承認・・・99(件)
(4) 2020年度の教育訓練の実績 教育訓練の受講者数・・・603(人)
(5) 獣医学部動物実験委員会の構成 別表2の通り
(6) その他 本学部は公私立大学実験動物施設協議会に加盟している。

別表1 実験動物の飼養保管状況

動物種		飼養する動物の概数
哺乳類	マウス	1,646
	ラット	133
	モルモット	0
	ハムスター	54
	ウサギ	0
	ヒツジ	79
	ヤギ	4
	ブタ	42
	ウシ	363
	ウマ	14
	イヌ	66
	ネコ	28
	コモンマーモセット	4
鳥類	ニワトリ	11
爬虫類	—	—

(2021年4月現在)

別表2 獣医学部動物実験委員会の構成

委員	専門分野	基本指針区分
委員長	実験動物学	②
副委員長	実験動物学	②
委員	獣医内科学	①
委員	毒性学	①
委員	獣医生理学	①
委員	食品機能学	①
委員	獣医病理学	①
委員	動物行動学	①
委員	栄養生理学	①
委員	獣医内科学	①
委員	獣医生化学	①
委員	獣医外科学	①
委員	動物健康情報学	①
委員	獣医伝染病学	①

委員	獣医微生物学	①
委員	大動物臨床学	②
委員	獣医内科学	②
委員	獣医伝染病学	②
委員	獣医薬理学	②
委員	大動物臨床学	②
委員	飼育管理学	②
委員	人獣共通感染症学	②
委員	獣医内科学	②
委員	実験動物学	②
委員	細胞工学	②
委員	動物代謝学	②
委員	—	③
委員	—	③

※「研究機関における動物実験の実施に関する基本指針」（平成18年6月1日文科省告示）における以下の区分

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③ その他の学識経験を有する者